

2016年10月16日 「『していない罰』を受けられますか？」

## 本日のおもちかえり

- 1) 神様はカインに四度、たずねています。(6節×2、9節、10節)。ここからカインは四度、自ら悔い改めるチャンスがありましたが、彼はそれを逃しました。カインの心にはどんな思いがあったのでしょうか。
  
- 2) 創世記4章10節-12節を読みましょう。カインは「地上の放浪者」となりました。このことは私達にも当てはまりませんか。ここでいう「地上の放浪者」とは何を意味するのでしょうか。
  
- 3) 創世記4章13節-14節を読みましょう。「わたしの罰は重くて負いきれません」とは何を意味しますか。あなたは自分の犯した罪を自分で解決する術を持っていますか。
  
- 4) ローマ5章12節を読みましょう。パウロはアダムが人類に何をもたらしたと言っていますか。このことはどんなかたちで私達の世界に存在していますか。
  
- 5) ローマ5章12節-21節を読みましょう。パウロはここで「アダム」に対して「もうひとりの人」について触れています。それは誰ですか。この人はアダムが残していったことに対して何をなされたのでしょうか。
  
- 6) 自分には見覚えのない、自分がしていないことが責められ、それに対する罰が与えられるとしたら、あなたはどのようにそれに反応しますか。
  
- 7) イエス・キリストが私達のためになされたことは何ですか。そのことはイエス・キリストと私達がどんな関係にあることを意味しますか。このことはなぜ私達にとりまして希望となるのでしょうか。
  
- 8) ローマ8章31節-39節を読みましょう。私達がイエス・キリストの十字架により、与えられているものは何でしょうか。